

# 鳴門教育大学研究紀要

第 37 卷

鳴 門 教 育 大 学

2022

# 目 次 (Contents)

## 教育科学編

### EDUCATION SCIENCES

- ・小児期の性別違和感  
— 家族の影響と自閉的傾向との関連 — ……………葛 西 真記子, 高 山 満里奈 (1)  
Gender Dysphoria in Childhood: Relationships between Family Influences  
and Autism Spectrum Tendencies KASAI Makiko and TAKAYAMA Marina
- ・箱庭を活用した教育相談研修における体験過程の検討  
— 個人およびグループでの箱庭制作体験に着目して — ……………久 米 禎 子 (18)  
Examination of the experience process in educational consultation training using Sandplay  
KUME Teiko
- ・「不登校」の問題とその解決  
……………山 崎 勝 之 (30)  
School Refusal (Non-Attendance at School): Problems and Solutions  
YAMASAKI Katsuyuki
- ・学校予防教育プログラム「感情の理解と対処の育成」短縮版  
— 小学校6年生における, 新たな方途を用いた授業内容 — ……………内 田 香奈子, 山 崎 勝 之 (46)  
A School-Based Universal Prevention Education (Short Version Program) for Development of  
Understanding and Regulating Emotions:  
New Educational Methods for 6th-Grade Children at Elementary Schools  
UCHIDA Kanako and YAMASAKI Katsuyuki
- ・ベトナム社会主義共和国の市民教育の課題  
— 「普遍的シティズンシップ」の問い直しと社会主義シティズンシップの可能性 —  
……………石 村 雅 雄 (80)  
Challenges of Civic Education in the Socialist Republic of Vietnam  
— Re-questioning “Universal Citizenship” and Possibility of Socialist Citizenship —  
ISHIMURA Masao
- ・徳島市津田中学校の防災学習倶楽部の部員が語る「ゆるさ」と「めりはり」  
— 防災学習の場に生まれるコムニタス — ……………谷 村 千 絵,  
根 本 淳 子, 光 原 弘 幸 (90)  
“Informality” and “Balance” Discussed by Members of the Disaster Prevention Learning  
Club at Tsuda Junior High School in Tokushima City  
— Communitas Born in the Field of Disaster Prevention Learning —  
TANIMURA Chie, NEMOTO Junko and MITSUHARA Hiroyuki
- ・言語教育基礎論としての「対話環」理論の研究……………村 井 万里子 (101)  
A study of the theory of *taiwa-kan* as a basic foundational theory of language education  
MURAI Mariko

- ・ 小学校国語科教科書における科学的説明文教材の史的考察  
 —「ありの行列」を例として—……………幾田伸司 (119)  
 A Historical Consideration of the Scientific Explanatory Texts in Japanese Textbooks used at Elementary School  
 — A Case of “Ari no Gyoretsu (Line of Ants)” — IKUTA Shinji
- ・ 学習、学修、学嵩と「気づき」の関係を改訂版タクソノミーと STEAM 教育の点から考える  
 ……………胸組虎胤 (130)  
 Thinking the Relationship between Noticing in Learning and Three Levels of “Gakushu” in Terms of  
 A Revision of Taxonomy and STEAM Education MUNEGUMI Toratane
- ・ 教科書題材に見る「造形遊び」の変遷  
 — 昭和52年告示の学習指導要領とそれを受けて出版された教科書の分析をもとに —  
 ……………山田芳明, 宮川紀宏 (144)  
 Transition of “Artistic play activities” seen in textbook Subject  
 — Based on the analysis of the textbook published in response to the course of study announced in 1977 —  
 YAMADA Yoshiaki and MIYAGAWA Norihiro
- ・ 心理学実験「パーソナルスペース」におけるアクリル板の影響  
 — 座位・立位での計測 — ……………高原光恵 (155)  
 Effects of acrylic panel on psychological experiment “personal space”: Comparison of sitting and standing  
 TAKAHARA Mitsue
- ・ 学習支援事業者と学校との連携の実態と課題  
 — 生活支援を重視する事業者との連携に着目して —  
 ……………大林正史, 仲田康一, 柏木智子 (164)  
 Actual Conditions and Tasks of Cooperation between Learning Support Providers and Schools  
 — Focusing on cooperation with learning support providers that emphasize life support —  
 OBAYASHI Masafumi, NAKATA Koichi and KASHIWAGI Tomoko

人文・社会科学編

HUMANS AND SOCIAL SCIENCES

- ・ 心理援助職の初心者を対象とした Magazine Photo Collage (MPC) を用いた研修体験での  
 「コラージュ療法体験・セルフチェックリスト」の活用の試み……………今田雄三 (175)  
 An attempt to use collage therapy experience and self-checklist in training using  
 Magazine Photo Collage (MPC) for novice therapists IMADA Yuzo
- ・ 無尽山地蔵寺住職に関する覚え書き  
 — 中世から近世初頭の住職を中心に — ……………原卓志 (192)  
 Memorandum on the abbot of Mujinzan Jizoji Temple  
 — The Chief Priests in the Medieval and Early Modern Periods — HARA Takuji
- ・ 中河與一の科学的ロマン主義  
 — 雑誌『新科学的』刊行期間中の思考をめぐって ……………黒田俊太郎 (210)  
 Yoichi Nakagawa’s Scientific Romanticism:  
 In the Time of the Magazine *Shin Kagaku-Teki* [New Scientific] (1930-1933) KURODA Shuntaro

- ・英語からの借用語における形態素の振る舞い  
— 外来語辞典調査からの一考察 — ……………眞野美穂 (220)  
A qualitative study of morphological reduction and phonological change  
in Japanese loanwords from English MANO Miho
- ・Cluverius の *Introductionis in universam geographiam, tam veterem quam novam*  
— 第2巻第8章～第3巻第8章の翻訳 — ……………立岡裕士 (243)  
Cluverius's *Introductionis in universam geographiam, tam veterem quam novam!*  
an translation of volume 2 ch.8 to volume 3 ch.8 TATUOKA Yuuzi
- ・近世前期阿波国真言宗寺院における本末関係の形成  
— 五番札所・無尽山莊巖院地藏寺を中心に — ……………町田哲 (268)  
The Formation of Main Temple-Subordinate Temple Relationships in Shingon Buddhist Temples  
in Early Modern Awa Domain MACHIDA Tetsu
- ・教師の言葉と権力  
— 教員養成大学の学生を対象とした“ニセ科学”を題材とした授業の分析から — ……………眞野豊 (291)  
Teacher's Words and Power: From the Analysis of the Class on the Subject of “Fake Science”  
for the Students of the Teacher Training University MANO Yutaka
- ・体育科授業論  
— 教科の本質と運動の見方・考え方に着目して — ……………湯口雅史, 江尻沙和香 (298)  
Physical education class theory  
— Focusing on the essence of the curriculum and the way of looking at and way of thinking of the sport —  
YUGUCHI Masafumi and EJIRI Sawaka
- ・保育者や教員志望学生の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の評価に関する研究  
……………湯地宏樹, 高丘有季乃, 湯地由美 (313)  
The Study of Valuation of the “Ideal Image by the End of Childhood,” “Qualities and Abilities,”  
“Proactive and Dialogic Deep Learning,” and the “Five Areas” in the National Curriculum Standard  
for Kindergartens YUJI Hiroki, TAKAOKA Yukiko and YUJI Yumi
- ・「子ども食堂」を「子どもの居場所」として地域に広げる方策に関する研究  
— 徳島県内の子ども食堂運営者へのインタビュー調査より — ……………木村直子, 菅玲奈 (327)  
Research on Steps to Create Kodomo-Shokudo (Special Cafeterias for Children) as Local Places for Them to Be  
— From Interview Research with Managers of Cafeterias for Children in Tokushima prefecture —  
KIMURA Naoko and SUGA Reina

---

自然科学編

NATURAL SCIENCES

---

- ・生物学の立場から提案する「遺伝」をテーマとする授業内容の一例と教員養成の課題  
……………佐藤勝幸 (346)  
A class lesson content to the theme of “heredity” suggested from a biological viewpoint and  
problem of the teacher training. SATO Katsuyuki

---

芸術編

ARTS

---

- ・ 信時潔作曲『帰去来の辞』  
.....山田啓明 (351)  
“Kikyorai no Ji” composed by NOBUTOKI Kiyoshi YAMADA Hiroaki
  
- ・ 生成の原理に基づく授業デザインにおける文化的側面の位置づけ  
— 郷土の音楽を教材として — .....鉄口真理子 (365)  
Positioning of cultural aspects in a class design based on the concept of the generating of music  
— Using local music as a teaching material — TETSUGUCHI Mariko
  
- ・ ラスコ洞窟壁画の芸術性：綿密な記述による.....小川勝 (381)  
Artistic Quality of Parietal Art: through Thick Description OGAWA Masaru

---

生活・健康編

HEALTH AND LIVING SCIENCES

---

- ・ スマートシティ構築における市民参加の必要性  
.....竹口幸志 (392)  
Necessity of Citizen Participation in Building Smart Cities TAKEGUCHI Koji
  
- ・ 中学校技術・家庭科（技術分野）におけるレーザーカッターを使ったものづくり授業の提案  
.....宮下晃一 (403)  
Suggestion of Manufacturing Class using Laser Cutter in Technology Education of Junior High School  
MIYASHITA Koichi
  
- ・ 大学生のファストファッションに対する意識調査  
— 家庭科における環境に配慮した衣生活の実現を目指した授業開発に向けて —  
.....速水多佳子, 濱田爽花 (411)  
Findings from a Survey of University Students' Attitudes toward “Fast Fashion”:  
Designing Home Economics Classes to Cultivate Environmentally Friendly Clothing Habits  
HAYAMI Takako and HAMADA Sawaka

---

報告

REPORT

---

- ・ ICT教育実践を含めた学習指導力開発の提言  
— 教職大学院改革における新コースのカリキュラムデザインを踏まえて —  
.....金児正史, 皆川直凡,  
西村公孝, 竹口幸志 (421)  
Proposal for the Development of Learning Leadership including ICT Education Practice:  
Based on the Curriculum Design of the New Course in the Reform of the Graduate School of Teaching  
KANEKO Masafumi, MINAGAWA Naohiro, NISHIMURA Kimitaka and TAKEGUCHI Koji

## 執筆者紹介(掲載順)

### ■教育科学編

葛西真記子	鳴門教育大学心理臨床コース(臨床心理学)
久米禎子	鳴門教育大学心理臨床コース(臨床心理学)
山崎勝之	鳴門教育大学心理臨床コース(心理・教育科学)
内田香奈子	鳴門教育大学心理臨床コース(心理・教育科学)
石村雅雄	鳴門教育大学グローバル教育コース
谷村千絵	鳴門教育大学現代教育課題総合コース
村井万里子	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(国語)
幾田伸司	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(国語)
胸組虎胤	鳴門教育大学自然・生活系教科実践高度化コース(理科)
山田芳明	鳴門教育大学芸術・体育系教科実践高度化コース(美術)
高原光恵	鳴門教育大学子ども発達支援コース(特別支援教育)
大林正史	鳴門教育大学学校づくりマネジメントコース

### ■人文・社会科学編

今田雄三	鳴門教育大学心理臨床コース(臨床心理学)
原卓志	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(国語)
黒田俊太郎	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(国語)
眞野美穂	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(英語)
立岡裕士	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(社会)
町田哲	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(社会)
眞野豊	鳴門教育大学言語・社会系教科実践高度化コース(社会)
湯口雅史	鳴門教育大学芸術・体育系教科実践高度化コース(保健体育)
湯地宏樹	鳴門教育大学子ども発達支援コース
木村直子	鳴門教育大学子ども発達支援コース

### ■自然科学編

佐藤勝幸	鳴門教育大学自然・生活系教科実践高度化コース(理科)
------	----------------------------

### ■芸術編

山田啓明	鳴門教育大学芸術・体育系教科実践高度化コース(音楽)
鉄口真理子	鳴門教育大学芸術・体育系教科実践高度化コース(音楽)
小川勝	鳴門教育大学芸術・体育系教科実践高度化コース(美術)

### ■生活・健康編

竹口幸志	鳴門教育大学現代教育課題総合コース
宮下晃一	鳴門教育大学自然・生活系教科実践高度化コース(技術・工業・情報)
速水多佳子	鳴門教育大学自然・生活系教科実践高度化コース(家庭)

### ■報告

金児正史	鳴門教育大学学習指導力開発コース
------	------------------

鳴門教育大学研究紀要編集・発行要項

	平成16年	5月27日
	学 長	裁 定
改正	平成17年	5月13日
	平成18年	6月 1日
	平成18年10月	17日
	平成23年	8月 8日
	平成27年	3月19日
	平成29年	4月26日
	令和 3年	5月31日

(趣旨)

第1 この要項は、鳴門教育大学（以下「本学」という。）が研究の成果を発表するために発行する「鳴門教育大学研究紀要」（以下「紀要」という。）の編集及び発行について必要な事項を定める。

(編集・発行)

第2 紀要の編集及び発行は、国立大学法人鳴門教育大学学術研究推進委員会（以下「委員会」という。）が行う。

(発行形態・資格)

第3 紀要は、教育科学編、人文・社会科学編、自然科学編、芸術編及び生活・健康編とする。

第4 紀要は、CD-ROM形式とし、毎年度1回発行する。

第5 紀要に執筆及び投稿できる者は、次のとおりとする。

- (1) 本学の専任教員、研究員、外国人客員研究員
- (2) 本学の専任教員を論文の筆頭者とした場合の共同研究者
- (3) その他委員会が特に認めた者

(投稿点数・留意事項)

第6 第一著者として投稿できる論文点数は、原則として1執筆者1論文とする。共著論文の場合は、論文筆頭者は1論文とみなす。

第7 投稿する論文（実践論文を含む。）（以下「論文」という。）は、論文として未発表のものに限る。

第8 投稿する論文の提出期限は、毎年9月末日とし、それ以後に提出されたものは受理しない。

2 論文は、原則として横書きとする。

3 論文は、邦文の場合は2,400字を、欧文の場合は4,800字を1ページとする。

第9 第8の3の規定にかかわらず、別刷りを希望する場合は、1論文当たり図表・写真等及び論文要旨を含み15ページを制限ページ数とする。ただし、論文要旨は、1ページを原則とする。

(論文の査読)

第10 委員会は、投稿された論文を、選定した査読者に査読させるものとする。

2 委員会は、3名の査読者を選定し、うち1名以上は学外者とする。

(著作権等)

第11 投稿する論文の著作権は、鳴門教育大学機関リポジトリ要項（平成26年学長裁定）に基づき、投稿者に帰属するとともに、当該論文を公開（Webによる公開を含む。）することについて著者の許諾があったものとして取り扱う。

2 投稿者は本学に対し、当該論文の外部機関を含めたWebや印刷等での公開・転載・複製等を承諾するものとする。

3 論文中における文章・図・表・写真等の引用は、適切に行う。著作権に抵触する場合は、事前に著作者の許諾を得る。

第12 共著論文の論文の筆頭者は、当該論文全ての共著者に、共著者である旨及び公開する旨の同意を文書により得なければならない。

2 前項の文書を得られない場合、本学は、共著論文の投稿を受理しない。

(実施細目)

第13 この要項に定めるもののほか、紀要の編集及び発行の実施に関し必要な細目は、委員会が別に

定める。

附 則

この要項は、平成16年 5月27日から施行する。

附 則

この要項は、平成17年 5月13日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年 6月 1日から施行する。

附 則

この要項は、平成18年10月17日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年 8月 8日から施行する。

附 則

この要項は、平成27年 3月19日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

この要項は、平成29年 4月26日から施行する。

附 則

この要項は、令和 3年 5月31日から施行する。